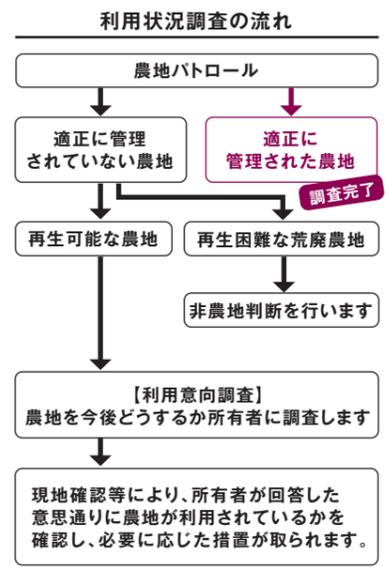




農業者年金
 農業者年金で未来の自分へ
 安心を積み立てませんか？
 少子高齢化に強い
 積立方式・確定拠出型年金です。

- ① 年間60日以上以上の農業従事
- ② 国民年金第1号被保険者
- ③ 60歳未満

※年間60日以上農業に従事している60歳以上65歳未満の国民年金任意加入者も加入できます



農地パトロール実施中

農業委員会では、毎年秋に農地法第30条に基づき農地の利用状況調査（農地パトロール）を行っています。

農地パトロールの主な目的は

- ① 地域の農地利用の確認
- ② 遊休農地の実態把握と発生防止・解消
- ③ 違反転用の発生防止・早期発見です。

耕作を放棄した農地は病害虫の発生や交通事故の原因にもなり、近隣の農地や周辺住民に大変な迷惑がかかってしまいます。農地をお持ちの方は、よりよい耕作・生活環境を保つために**定期的な草刈りなどで農地の適正な管理をお願いします。**

なお、現地確認のため、腕章、車にステッカーをつけた委員が皆様の農地に立ち入る場合がございますので、ご協力をお願いします。



農業者年金 オンラインセミナー

開催日: 12/9(火) 予定

メリットを分かりやすく解説します!

リアルタイムで質問を受け付けます!

予告なく開催日を変更する可能性があります。過去のオンラインセミナーアーカイブも公開中!

開催方法

Zoomウェビナー
 予約フォーム準備中!
 詳細は右の二次元コードからご覧ください。

農地法第3条申請における違反転用農地の取扱いについて

農地法第3条の規定に基づき、農地の売買、贈与、または貸借を行う際には、農業委員会の許可が必要です。この許可申請を行う際、譲受人（農地を取得する方）が既に所有している農地に、無許可で農地以外のものに転用している土地（違反転用農地）がある場合は許可ができませんので、申請前にご自身の所有地に違反転用農地がないか改めてご確認いただき、違反転用があれば事前に解消してください。

違反転用状態を解消するには？

違反転用状態を解消する方法は、主に次の2つです。

- 1 農地に戻す（原状回復）
- 2 法的な手続きを行う…違反転用した土地について、農地法第4条または第5条に基づく転用許可申請を提出し、許可を得る。

詳しくは農業委員会事務局へお問い合わせください。

〈編集後記〉

記録的な暑さに見舞われた今年の夏でしたがようやく秋らしくなってきました。

私も近所の皆さんの作付け状況を見ながら白菜の苗20株を植え寒冷紗を掛け成長を楽しみにしているところです。

さて、今年は昨年からの物価の高騰、さらに拍車をかけるように米の価格が急騰しました。生産コストの上昇・インバウンド需要の回復等の要因があるにせよ備蓄米を放出しても価格が落ち着かない状況が続いています。今まで安定的に供給されてきた米が国民にとっていかに大事か思い知らされたような気がします。早く生産者、消費者が納得できる価格に落ち着くことを願うものです。

今年は農業委員の改選期にあたり、私もこの10月から、引き続き3年の任期を務めさせていただきます。「農地等の利用の最適化」を進める地域活動を行いますのでよろしくお願い致します。(杉山 裕)

●編集委員
 今井 学・中島義彦・二村 浩・今井明浩・杉山 裕

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

農家の経営と暮らしに役立つ
 週刊の農業総合専門誌です。
 農業の時事問題解説に力を入れ、
 事例が豊富です!

農業者の視点でお届けします

週刊《金曜日発行》 月700円

お申込みは農業委員会まで

新しい農業委員会委員が決定しました

任期満了に伴い、新たに農業委員14名、農地利用最適化推進委員12名が決定しました。農地に関する相談は地元委員までお願いいたします。

●委員の紹介
 任 期：令和7年10月1日～令和10年9月30日
 (写真下：上段=委員番号・氏名・カッコ内農業委員、推進委員の別 下段=担当地区)

1 今井 学 (農)	2 熊崎 秀幸 (農)	3 石原 郁夫 (推)	4 嶋田 浩 (農)	5 熊崎 みどり (農)	6 中島 義彦 (農)
落合・湯屋・大洞	岩崎・門坂・無数原 大垣内・小坂町	大島・坂下・長瀬・赤沼田	宮田・大ケ洞・ 奥田洞・上呂	尾崎2区・尾崎3区・四美	桜洞・萩原
7 熊崎 升美 (農)	8 中川 輝男 (推)	9 小田 忍 (推)	10 田中 覚章 (推)	11 寶 賢一 (農)	12 二村 浩 (農)
野上・羽根	上村・花池・中呂	山之口・尾崎1	古関・跡津・西上田	川上・黒石・数河	中切・堀之内・名丸 (萩原)
13 二村 昭司 (推)	14 鎌倉 宏之 (農)	15 福井 順也 (農)	16 中島 次郎 (推)	17 中島 義雄 (農)	18 今井 明浩 (推)
名丸・井谷・惣島・西村	宮地	夏焼・田口・蛇之尾	乗政	渡・下原町・中津原・ 福来・中切	東上田・湯之島・森・小川 幸田・少ヶ野・三原
19 熊崎 徹 (推)	20 中桐 由起子 (推)	21 中島 義雄 (農)	22 谷口 寿貴 (農)	23 中島 悠 (農)	24 日下部 道男 (推)
久野川・火打・和佐・焼石・ 三ツ淵・瀬戸・保井戸・門原	門和佐	戸部・東沓部	田島・大船渡・金山	菅田桐洞	菅田菅洞
25 井戸 克彦 (推)	26 杉山 裕 (推)	25 井戸 克彦 (推)	26 杉山 裕 (推)	25 井戸 克彦 (推)	26 杉山 裕 (推)
弓掛・乙原・岩瀬・祖師野	田島・大船渡・金山	弓掛・乙原・岩瀬・祖師野	田島・大船渡・金山	弓掛・乙原・岩瀬・祖師野	田島・大船渡・金山



1 委員 1 事例 活動 をご紹介します!

【令和6年度～令和7年度活動一覧】

令和7年9月に任期満了した委員が、地域の課題解決に向けてこれまで取り組んできたプロジェクトをご紹介します。

氏名	活動内容	詳細	結果
山下 康子 上野 耕正 大森 公治	子ども食堂	子ども食堂における食農教育、農業委員会からの食材提供。	子ども食堂の運営費にゆとりが生まれ、肉や調味料に予算が割けた。生産者の顔写真も当日掲載し、地域の農業者を知ってもらう機会にもなった。
嶋田 浩 熊崎 みどり	休耕田で景観植物を育てる	休耕田にハスを植え、農村景観の奇与と荒廃地化を食い止める。	ハスが細く、なかなか茂らないまま草の繁殖力に負けて開花しなかった。
中島 義彦	空き家データリストの作成	地域の区長等と協力し、空き家データリストを作成する。	地域・行政と共有し、新規就農者の住居探しに活用していく。
林 忠助	湛水直播 (たんすいちよくは)	湛水直播で営農効率改善を試みる。	育苗・田植え作業の省略による春作業の省力化とコストダウンができた。
中川 元宏	圃場整備事業の円滑な推進	圃場整備に時間がかかりすぎていることから、今後控えている換地計画への協力を呼び掛ける。	地域の担い手は今年度初めての世代交代であり、これまでの経緯を知る農業委員として、新しい代表者をサポートしつつ、地権者と担い手の橋渡し役として活動した。
中川 輝男	遊休農地の解消と貸付	長期間遊休農地化している農地の地権者と交渉・担い手への貸付。	大部分が令和7年度中に利用権設定の方向で話がまとまった。
田中 覚章	古関南部の農地活用	借り手の搜索、圃場整備の検討、農地転用を視野にいれた企業誘致(老健など)の可能性の検討。	具体的な話がまとまったわけではないが、地域の将来について住民に危機感を感じてもらえただけでも成果といえる。
二村 昭司 小林 寿 川口 太三	特殊販路による需要に対応した野菜の作付	元地域おこし協力隊員で料理人の平田肇さんと、馬瀬でなじみのない野菜の作付けを試みる。	地域住民から平田さんが作る作物に興味を示す方が出てきた。
鎌倉 誠也 中島 尊治 中島 次郎	悪条件圃場の改良と貸付	悪条件の圃場を改善し、貸付へつなげる。	地元の担い手が令和7年度から作付を行っている。
福井 順也	畜産教育	地域の子供たちに畜舎を見学させ、農業への理解を深める。	子どもたちは真剣に参加してくれ、貴重な機会となった。
二村 正明	獣害対策	年々離農している人が増えているなか、獣害から地域を守り耕作意欲を保つため、獣害対策を検討する。	サルの被害は減ったものの、本来の目的である離農者の食い止めにはつながっていない。
熊崎 徹	交流人口の増加と、農業体験メニューなど	まるかりの里宿泊者や地域の子供たちなどに対し農業体験メニューを作成し、都市部の人と交流人口を増やしつつ地域の保全管理を行う。(茶摘み・草刈り・田植えなど)	茶摘み、田植え、稲刈りは実施できたが草刈りは安全面の問題がクリアできていない。まるかりの里のファンを増やし、継続的に訪れてもらうことで地域保全につながるよう、まるかりの里で地域野菜の直売も開始した。
中桐 由起子	交流人口の増加と、農業体験メニューの創出、六次化	新たに大豆・藍を作付し、味噌づくり体験、藍染め体験メニューとして提供する。藍染めの藍を地元の家庭菜園等で生産し、遊休農地化防止につなげる。	現時点ではまだ計画の途中でであり今後継続して実現に向けて模索していきたい。
金森 茂俊 中島 義雄 中島 悠 日下部 道男 井戸 克彦 杉山 裕	田んぼで遊ぼう!	田んぼでどろんこ遊びなどを行うことで、農業とふれあう機会を創出する。	田んぼに初めて入る子供も多く、農業離れている子供たちにとって貴重な体験になった。実際に2年目は参加者が倍増しており、活動自体の評判が良いことがわかる。改めて地域の資源に感謝する声があった。

事例紹介 萩原地区

「WCSの湛水直播」

湛水直播栽培(水がある状態の田に種をまく栽培方法、いわゆるじかまき)によって育苗や田植えの作業を省略し、水稲の作業低減とコスト低減を目指しました。令和6年度は手撒き、令和7年度は肥料散布に使用していた動噴機で行いました。圃場サイズは1反5畝ほどでしたが、畔から撒いても比較的均一に中央部まで届いたようです。ほかにはドローン散布などの方法もあります。

直播により農地の耕作維持のハードルが下がり、地域の維持管理へとつながることが期待されます。



事例紹介 下呂地区

「畜産教育」

上原小学校と連携し、児童たちに牛舎見学や牛クイズ、畜産農家体験などを行いました。かつては人よりも牛のほうが多いと言われていた上原地区で、地域に根差した農業の一つとして畜産について知ってもらい、地域への愛着を増してほしいというねらいがありました。今後も継続して活動していきたいと考えています。



令和6年度岐阜県農業委員会

活動優良表彰受賞

令和7年6月17日に大垣フォーラムホテルにて岐阜県農業委員会活動優良表彰の表彰式が行われ、令和6年度における下呂市農業委員会の活動のうち「夏休み子ども食堂への食材提供と食農教育活動」「田んぼどろんこサップ」「畜産教育」の3つの活動が、「農業振興部門」を受賞しました。これらはいずれも子どもたちが農業にふれあい、また地域への愛着を深めるための活動です。未来の地域の守り手を育てることで、将来への地域振興につなげたという思いから取り組んでおり、これらの活動が認められ、今回の受賞につながりました。



アグリルックのご紹介

今年度より、人工衛星情報を活用した水稲栽培webサービス【アグリルック】の試験運用を行っています。面倒な登録などは不要で、どなたでも無料で適切な穂肥、農業防除、刈り取りなどの時期がわかります。

農業経験が浅くいつ何をしたらわからない方、近年の異常気象によりこれまでの経験が適用できない方など、様々な方にご活用いただけます。日々の気候条件等を細かくデータに反映されているため、日を追うごとに精度が上がります。

今年度は既に大半の水稲は刈り取りが終了していると思われていますが、来年度も運用を予定しておりますので、ぜひご活用ください。



二次元コードを読み込み

自分の水田を選択

品種・田植え日を入力

出穂日・成熟期、穂肥・防除適期などがわかる!

新会長からのご挨拶

10月から新体制となりました。委員一同、地域のために活動してまいります。よろしく願いいたします。

今回の改選により約3分の1が新任委員となりました。これまでにない新しい風を吹き込んでくださることを期待しています。今後とも地域の皆様のご理解ご協力を賜りますと幸いです。



新会長 熊崎 みどり